

参考資料

令和8年度当初予算案における主要な事業

部 室 名
こども未来部

新規事業及び重要事業総括表

I 総額

【一般会計】

区分	令和8年度	令和7年度	伸び率
予算総額	8,810,014千円	7,863,897千円	12.0%
一般会計構成比	18.7%	18.2%	-

II 主な新規事業及び重要事業

(単位 千円)

施策1-1 出産・子育て支援の充実

P 1		こどもまんなか推進事業	【こども応援課】	562
P 2	一部新規等	特定教育・保育所等支援事業 (乳児等のための支援給付費負担金)	【保育課】	3,328,761
P 3		吹上地域保育園等新設整備事業	【保育課】	748,041
P 4		こども家庭センター事業	【子育て支援課】	29,405
P 5	一部新規等	地域子育て支援事業	【こども応援課】	53,782
P 6	一部新規等	子育てフェスティバル開催事業	【こども応援課】	747
P 7	一部新規等	母子家庭等対策総合支援事業	【子育て支援課】	23,704
P 8	一部新規等	母子健診事業	【子育て支援課】	106,030

施策1-3 青少年の健全育成

P 9	一部新規等	こどもの居場所支援事業	【こども応援課】	6,362
P 10	一部新規等	放課後児童クラブ管理運営事業	【こども応援課】	645,450
P 11	一部新規等	鴻巣児童センター管理運営事業	【こども応援課】	11,153

こどもまんなか推進事業

担当 こども応援課 計画担当
内線 2621 2622

1 目的

こどもたちが健やかに成長し、自己が尊重される“こどもまんなか”社会の実現を目指し、他の事務事業とも連携してこどもまんなか施策を推進する。

2 事業内容

(1) こどもまんなか会議の開催

令和7年度を始期とする鴻巣市こども計画の進捗状況の評価・点検等を行う。

(2) 「こどもの権利」の周知・啓発

鴻巣市こどもの権利条例に定める11月20日の「このす☆こどもの権利の日」にあたり、ポスター掲示等により周知を行うとともに、職員出前講座の実施や、こども向けに作成したパンフレットの活用により、こどもの権利についての周知啓発を図る。

(3) こどもの意見聴取

こどもたちから継続的に意見聴取を行うためのチャンネルとして市ホームページ内に整備した「こどものいけんばこ」について、引き続き周知を行うとともに、聴取した意見を市政運営の参考とする。

(4) 小・中学生のコミュニティバス無料化

夏休み期間中、小・中学生を対象に、コミュニティバス（フラワー号）の運賃無料化を実施し、こどもたちが、本市の様々な魅力を知るきっかけにするとともに、こどもたちの移動支援、猛暑下の熱中症予防など、こどもの安全・安心を守る。

3 予算額 562千円

パンフレット このとり～空版～
(小学校低学年向け)

こどもまんなか



特定教育・保育所等支援事業 (乳児等のための支援給付費負担金)

担当 保育課 保育担当
内線 2641 2642

1 目的

特定教育・保育施設、特定地域型保育事業及び特定子ども・子育て支援施設に対し、給付費等を支払い、施設の円滑な運営を支援することを目的とする。

2 事業内容

(1) **新規** 乳児等のための支援給付費負担金

令和6年8月から試行的事業として実施してきた、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位で利用できるこども誰でも通園制度を令和8年度から本格実施し、全ての子育て家庭に対し、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化する。

令和8年度から子ども・子育て支援法に基づく新たな給付制度として創設。こども誰でも通園制度を実施する乳児等通園支援事業者に給付費を支払う。

3 予算額 3,328,761千円

こども **誰**でも
通園制度

吹上地域保育園等新設整備事業

担当 保育課 保育担当
内線 2641 2642

1 目的

建築から40年以上が経過し老朽化が進む鎌塚・吹上富士見の両保育所及び児童発達支援センターつつみ学園を廃止・統合し、地域子育て支援拠点機能を加えた複合施設を整備する。

2 事業内容

鎌塚保育所（定員120人）と吹上富士見保育所（定員100人）及びつつみ学園（定員30人）を廃止・統合し、従来の保育機能・児童発達支援機能に加え、地域子育て支援拠点機能を備えた複合施設として整備する。

令和8年度から令和9年度にかけて建築工事を実施する。

継続費	総額	年度	年割額
	2,283,056千円	令和8年度	745,435千円
		令和9年度	1,537,621千円

(1) 整備予定施設

施設区分	施設名	所在地	延床面積	定員	摘要
保育所	(仮称)吹上コスモス保育園	鎌塚字東裏地内	約1888㎡	100人	
児童発達支援センター	つつみ学園			30人	
地域子育て支援拠点	(仮称)吹上コスモス保育園子育て支援センター			-	新設

(2) 事業スケジュール（予定）

令和6～7年度 基本・実施設計
令和8～9年度 建設工事、開設準備（備品等）、既存施設閉所
令和10年度 開所

3 予算額 748,041千円



こども家庭センター事業

担当 子育て支援課 支援担当
内線 2635

1 目的

こども家庭センター「ここの巣」では、母子保健と児童福祉の両機能が一体的に、妊娠期から子育て期に至るまで、妊産婦や子育て家庭、こどもに対して切れ目のない相談支援を行い、包括的かつ継続的な支援を実施する。

2 事業内容

(1) 相談（電話・訪問・面談）

妊産婦・子育て家庭・こどもからの相談に応じ、必要な支援を行う。母子健康手帳交付時の面談では、妊娠期の不安や悩みに寄り添い、安心して出産を迎えられるよう支援する。また、子育て期においても、こどもの年齢や特性に応じたさまざまな相談に継続して対応するとともに、ニーズに応じて適切な相談機関やサービスへつなぐ。

(2) ヤングケアラーへの支援

令和7年度においては、高校生年代を対象に記名式のヤングケアラーアンケート調査を実施したが、直接支援につながる者の把握には至らなかった。令和8年度においても、引き続き実態の把握に努めるとともに、ヤングケアラーを確認した場合には、相談支援や利用可能なサービスに関する情報提供等、必要な支援を行う。また、ヤングケアラーへの支援の充実を図るため、先行自治体の取組事例等を参考としつつ、効果的な支援策について検討する。

(3) 要保護児童対策地域協議会との連携

こども家庭センター「ここの巣」は、要保護児童対策地域協議会事務局も兼ねている。児童虐待の認知件数が依然として減少しない現状を踏まえ、妊娠期から子育て期にわたるきめ細やかな支援に加え、より手厚い支援を必要とするこどもや家庭に対して専門性の高い支援を行うとともに、引き続き要保護児童対策地域協議会のネットワークを活用した地域での見守り体制の強化を図る。

3 予算額 29,405千円



地域子育て支援事業

担当 こども応援課 計画担当
内線 2621 2622

1 目的

少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など、こどもや子育てをめぐる環境が大きく変化する中で、家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の不安感の増大等に対応するため、地域の子育て機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、こどもの健やかな育ちを支援する。

2 事業内容

(1) 事業統合

従来の『地域子育て支援事業』と『地域子育て支援拠点（サロン型）事業』を統合し合理化を図る。

(2) 実施施設

- ・鴻巣市子育て支援センター [生出塚保育所内]
- ・川里ひまわり保育園子育て支援センター [川里ひまわり保育園内]
- ・なかよし広場 [寺谷保育園内]
- ・子育てサロンエルミこうのす [エルミこうのす内]
- ・子育てサロン北新宿 [北新宿児童センター内] ・子育てサロン箕田 [箕田児童センター内]
- ・子育てサロンあたご [あたご児童センター内] ※施設休館中は笠原児童センター内で実施
- ・子育てサロン田間宮 [田間宮児童センター内]
- ・子育てサロンコスモスふきあげ [吹上児童センター]

(3) 主な実施事項

- ① **拡充** 川里ひまわり保育園子育て支援センターの日曜日開設（予算額 29,257千円）
 - ・従来、月曜日～土曜日の週6日開設としていた川里ひまわり保育園子育て支援センターに関し、利用者からのニーズに対応するため、月曜日～日曜日の週7日開設に拡充する。
- ② **アウトリーチ型支援**
 - ・ホームスタート事業または子育て世帯訪問支援事業として支援が必要なご家庭に訪問し、家事や育児の支援を実施する。
- ③ **出張ひろば**
 - ・子育て支援センターや子育てサロンが整備されていない地域の子育て支援拠点機能を補完する「出張ひろば」を実施する。
- ④ **新規** 子育て世代向け就労支援
 - ・子育て世帯の家庭と仕事の両立を支援するため、マザーズハローワーク大宮と連携し、川里ひまわり保育園子育て支援センターで、子育て世代向けに就労に関する出張相談や出張セミナーを実施する。

3 予算額 53,782千円

子育てフェスティバル開催事業

担当 こども応援課 鴻巣児童センター
電話 541-0442

1 目的

鴻巣市のこどもたちの育ちと子育て家庭を応援するため、地域に広がる子育て支援事業の紹介を兼ねた体験型子育て家庭応援イベントを開催する。

2 事業内容

児童センターやこのすシネマを会場に、子育て世代向けの体験型応援イベントを開催する。

令和8年度は、このすシネマで未就学児とその家族を対象にこども映画フェスティバルを引き続き開催するほか、こどもの日やハロウィン等、季節に合わせて開催している子育てフェスティバルについて、従来の市内全9館の児童センターでの分散開催から、利用者の多い鴻巣・吹上の両児童センターでの集約実施に再編し、最適化を図る。

【開催イメージ】

○令和7年度

イベント名	開催日	会場
こどもの日フェスティバル	5月5日	鴻巣児童センター（以下、「児セ」という。）
サマーフェスティバル	7月5日	鴻巣児セ・川里児セ・吹上児セ
ハロウィンフェスティバル	10月25日	鴻巣児セ・笠原児セ・北新宿児セ
オータムフェスティバル	11月8日	あたご児セ
こども映画フェスティバル	11月8日	このすシネマ
ウィンターフェスティバル	1月17日	田間宮児セ・箕田児セ・常光児セ



○令和8年度

イベント名	開催時期	会場
こどもの日フェスティバル	5月5日	鴻巣児セ
サマーフェスティバル	7月上旬	鴻巣児セ【集約】
わくわくこどもフェスティバル	9月中下旬	吹上児セ【新規／集約】
ハロウィンフェスティバル	10月下旬	鴻巣児セ【集約】
こども映画フェスティバル	11月上旬	このすシネマ

※ウィンターフェスティバルは中止。

3 予算額 747千円

母子家庭等対策総合支援事業

担当 子育て支援課 給付担当
内線 2636

1 目的

ひとり親家庭の就業・自立支援、子育て・生活支援等の事業に要する経費に対して補助金を交付し、ひとり親家庭等への総合的な支援の充実を図る。

2 事業内容

(1) ひとり親家庭等生活向上事業委託料

ひとり親家庭のこどもに対し基本的な生活習慣の習得支援、学習支援等を行い、生活の向上を図る。

(2) **新規** コスメバンク事業委託料（予算額 241千円）

児童扶養手当受給者に対し、令和8年8月の現況届出時にあわせ、コスメバンクプロジェクトを通じて提供を受けたコスメギフト（化粧品等）を配布する。また、こどもの居場所事業と連動し、コスメギフトの一部はこども食堂を介して配布する。

(3) **新規** 公正証書等作成促進補助金（予算額 410千円）

ひとり親が継続的に養育費を受け取れるよう、民事執行法に基づく強制執行が可能となる養育費の取決め文書（強制執行認諾文言付公正証書、判決書、調停調書、審判書等）を作成するために要した費用について、補助金（上限額49,000円）を交付する。

(4) 自立支援教育訓練給付金

母子家庭の母または父子家庭の父の主体的な能力開発の取組を支援するため、対象教育訓練を受講し、修了した場合に給付金を支給する。

(5) 高等職業訓練促進給付金

母子家庭の母または父子家庭の父が看護師や介護福祉士等の資格取得のため、6月以上養成機関で修業する場合、生活費の負担軽減のため、高等職業訓練促進給付金を支給する。

(6) ひとり親家庭高等学校卒業程度合格支援給付金

ひとり親家庭の親及びひとり親家庭の子が高等学校卒業程度認定試験合格のための講座を受講する場合に、その費用の一部を支給する。

(7) 大学等受験料・模擬試験受験料支援金

進学段階での貧困の連鎖を断ち切るため、学習支援教室に登録等している、ひとり親家庭等のこどもに対して、受験料や模試費用を補助する。

3 予算額 23,704千円



母子健診事業

担当 子育て支援課 母子保健担当
内線 2701

1 目的

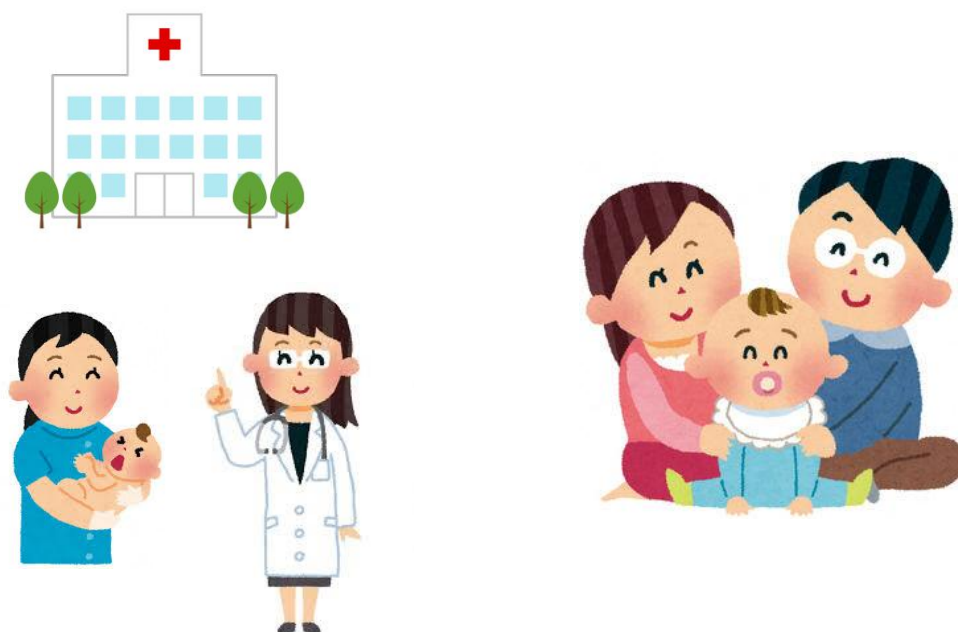
母子保健法に基づいて、妊娠期から産後・乳幼児期に至るまでの母子に対し、健康診査や産後ケア等の母子保健事業を実施することにより、母子の心身の健康の保持及び増進を図るとともに、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の充実を目的とする。

2 事業内容

(1) **拡充** 産婦健康診査委託料・産婦健康診査助成金 (予算額 6,540千円)

産後の母親の心身の健康保持及び産後うつの早期発見と予防を図るため、産婦健康診査の公費助成回数を1回から2回に拡充する。医療機関での健診結果をもとに、必要に応じてこども家庭センター等の伴走型相談支援へ円滑につなげることで、産後一定期間にわたる継続的な母親の心身や育児状況の確認及び必要な支援を早期に開始することを目指す。

3 予算額 106,030千円



こどもの居場所支援事業

担当 こども応援課 計画担当
内線 2621 2622

1 目的

こども食堂や学習支援教室等と民間企業や支援団体等の関係機関を結ぶネットワークを形成し、様々なかたちで支援することにより、こどもたちが安心して過ごせる「こどもの居場所」の充実を図る。

2 事業内容

(1) こどもの居場所づくりコーディネーターによる支援

こどもの居場所づくりコーディネーターを配置し、こども食堂や学習支援教室等の運営団体に対する後方支援や、関係機関との連携、地域ニーズの把握等を行う。

(2) こども食堂等へ応援金を交付

こども食堂等に対して応援金を支給し、活動を支援する。

(3) 出張こども食堂 in 児童センター

令和7年度から実施している夏休み等長期休業期間中の「出張こども食堂 in 児童センター」を、令和8年度においても継続して実施する。実施にあたっては、包括連携協定を締結する鴻巣女子高等学校と引き続き全面的に連携・協働して行うほか、こども食堂運営団体や SDGs パートナーなどの市内民間事業者等の参画を求めながら事業展開を図る。

(4) **新規** コスメギフトの配布

母子家庭等対策総合支援事業と連動し、コスメバンクプロジェクトを活用したコスメギフト（化粧品等）の配布を、こども食堂を通じて新たに行う。

3 予算額 6,362千円



放課後児童クラブ管理運営事業

担当 こども応援課 放課後児童担当
内線 2623・2624

1 目的

労働等のため昼間に保護者が家庭にいない児童に対し、家庭、地域等の連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、自主性、社会性及び創造性の向上と基本的な生活習慣の確立を促すことで、放課後児童の健全な育成を図る。

2 事業内容

(1) 放課後児童クラブの運営

市立小学校16校に設置されている放課後児童クラブについて、事業の安定性・継続性の確保及び放課後児童支援員等の処遇改善や研修機会の充実により事業の質の向上を図る。

また、保護者の多様化する働き方への支援として、休日や長期休業期間中においても、通年の放課後児童クラブとは異なる児童クラブを開室し、児童の受け入れを実施する。

【放課後児童クラブの入室状況(令和8年度見込み)】

運営形態	児童クラブ数	入室児童数
公設公営(直営)	2クラブ	183人
公設民営(指定管理)	14クラブ	1,100人
民設民営(業務委託)	7クラブ	402人
合計	23クラブ	1,685人

(2) **新規** 放課後児童クラブの新設整備(予算額 106,269千円)

放課後児童クラブの待機児童ゼロを維持するため、今後入室児童数の増加が見込まれる松原小学校区内及び下忍小学校区内に、令和9年4月の開設を目指し、いずれも民設民営による放課後児童クラブの新設整備を進める。(負担割合:国5/8・県1/16・市1/16・設置者1/4)

【整備を必要とする放課後児童クラブの詳細】

対象小学校区	松原小学校区	下忍小学校区
設置・運営形態	民設民営(業務委託)	民設民営(業務委託)
運営規模	2支援(児童数80名)	2支援(児童数80名)

3 予算額 645,450千円

鴻巣児童センター管理運営事業

担当 こども応援課 鴻巣児童センター
電話 541-0442

1 目的

児童福祉法に基づく児童健全育成・子育て支援を図る施設である児童センターについて、安全かつ快適な施設を提供するための維持管理を行う。

2 事業内容

(1) **新規** 1階ホールの照明環境向上（予算額 710千円）

1階のホールでは、塗り絵やカードゲーム等を行うテーブル、卓球台、ビリヤード台、おままごとコーナーなどの設備があるが、ホールを明るくしてほしいという子どもからの意見を受け、現在設置しているダウンライトを蛍光灯型LEDに改修し、照度の向上を図る。

(2) **新規** 体育室の照明改修（予算額 843千円）

鴻巣市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に取組内容として定める「省エネルギー設備導入の推進」を図り、環境負荷の低減を実現するため、体育室の水銀灯をLED照明に改修する。

3 予算額 11,153千円

1階ホール



体育室

